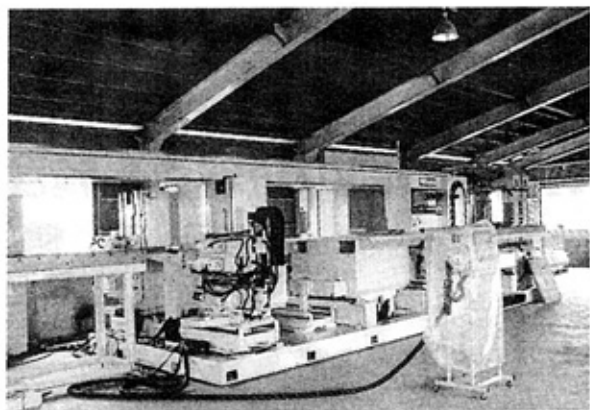


林経新聞

日本林業経済新聞社
 名古屋市中区千代田3-33-22
 (〒460-0012)
 TEL 052 (331) 3231(代)
 FAX 052 (321) 3000
 Eメール info@rinkei.jp
 東京総局 TEL 03(3539)4451
 FAX 03(3539)4477
 大阪総局 TEL 06(6543)1171
 FAX 06(6543)1179
 広島支局 〒732-0822(285)9117
 九州支局 〒812-0922(531)8628
 ©日本林業経済新聞社 2004

能登の産業を見る(下)

6月下旬の能登路もすつ 静な丘陵地に位置する石川 かり夏の装いだ。今回の中 県羽咋(はくい)郡志賀町 部木工機械記者クラブの視 徳田に本拠を構える日高機 察で最後に訪れたのは、関 械(日高明正社長)。



同社は、自 動(かん) 盤ほか、各種 木工機、加工 プラントなど、 ユーザーの ニーズに合わ せた設備を製 作。使いやす さ、性能の高 さは業界でも 屈指の技術と いう定評があ るメーカー。 昭和37年2

月、日高明正氏が勤務して いた石川県でも著名な榎田 刃鉄工所(本社金沢市小橋 町五―三五)から独立。当 初は産業機械メーカーでス タート。加工機製作にドイ ツ製の超大型機を多数導入 して設備の拡充を図る一方、 林業公共工事用・上留め木 製造を開始。57年にグルー

一貫した加工設備体制によ り、ユーザー企業に優位性 の得られる最新鋭機の製作 が同社のコンセプト。 現在は、在来工法・金具 は金沢市に本社を移し、木 柄材加工機、五面加工式N Cドア加工機などの製作に 取り組んでいる。

木工機メーカー 日高機械

工法の進展にこえるプレカット機

高機能な機種 の開発に必要 なソフトウェア プラントにも取 り組める人材 の育成、確保 に努め、独自の技術力を最 大限に発揮した機械づくり を目指し、安定した業績で 顧客を増やしている。

とくに設計開発、製造面 で顧客対応の生産システム にハイテク技術を盛り込み、 パソコンNCと制御装置を 併用型プレカットラインⅡ 写真、羽柄材プレカット機、 工汎用機(万能木工機)の 製造を開始。57年にグルー

て日高グループ傘下に。同 社は明治37年に東京都墨田 区で円筒研磨盤など主に精 密機械を製作。昭和23年に 住家用セラミック外壁材加 工機、NC自由旋回ランニ ングソー、プレカット用羽 工も可能。

このラインは、多ヘッ ド同時加工の制御技術に より側面加工機的能力を 従来の一・七倍以上に引 き上げ、上下面の最適加 工負荷バランスのために、 タルキ、間柱欠きカッ

は在来構造・ 金具工法に対 応した新設計 のラインで、 在来仕口加工 で不可能とされてきた省 スペース、高効率な横架 式ラインが確立された。

また、金具工法の対応 により、側面加工機の穴 加工能力を最大限に発揮 できる仕様で、穴あけ加 工を最適処理する画期的 な機械である。